

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

〈第40回定期大会報告〉



2025年7月18日(金) アートホテル日暮里ラングウッドにて道建労協・第40回定期大会が開催されました。2024年度の活動報告・会計報告、2025年度の役員改選、2025年度運動方針・予算案の審議がそれぞれ行われ、全ての議案は原案どおり承認を得て、大会は無事終わりました。

役員選挙において、副議長の松本崇氏(東亜道路労働組合)、中央執行委員の世古隆史氏(全大有労働組合)、米盛健二氏(NIPPO労働組合)、会計幹事の佐々木憲大(大林道路職員組合)、白崎謙二(大成ロテック社員組合)、の5名が退任され、副議長に初野浩子氏(東亜道路労働組合)、中央執行委員に久田陽平氏(NIPPO労働組合)、岩瀬洋平氏(全大有労働組合)、会計幹事に繁田晃太郎氏(大林道路職員組合)、川又宏樹氏(大成ロテック社員組合)の5名が新たに就任しました。これまでの意思を引き継ぎつつ、新体制で道建労協を盛り上げていきたいと思ひます。

退任された5名の役員におかれましては、長年の道建労協でのご活動、大変お疲れ様でした。

〈2025年度の取り組み〉

道建労協議長として2年目を迎えるにあたり、改めてその責任の重さを実感しております。

昨年度は、組合員の皆様の声に耳を傾け、現場の課題に真摯に向き合っておりまひました。今年度は、これまでの活動をさらに深化させ、「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現」に向け、より一層力を尽くす決意です。

道路建設業界では、官庁・民間ともに底堅い市場環境が続いていますが、合材出荷数量の減少や建設コスト増、人手不足など、依然として厳しい状況が続いています。

加えて、2024年4月から適用された時間外労働の上限規制により、働き方の見直しが求められています。各社の努力により総労働時間が削減され、休日取得も進んでいますが、実際の労働時間と出勤簿との乖離が確認される事例もあり、サービス残業の撲滅は喫緊の課題です。これは労使共通の責任として、断固たる姿勢で取り組まなければなりません。

また、完全週休二日制の実現に向けた「土曜閉所推進運動」では、6月・11月の強調月間に合わせた企業・団体訪問やポスター掲示、アンケートの実施により、閉所率・休日取得率が5年前と比べて約20%向上しました。今後は休日出勤時の代休・振休取得の推進を「働き方改革の鍵」と位置づけ、制度整備と職場風土の改善に取り組んでいきます。

人材不足が深刻化する中、若手技術者の育成と定着、女性技術者が安心して活躍できる環境づくりは、業界の持続可能性に直結する重要なテーマです。道建労協は、職場環境の改善と制度整備を通じて、誰もが働きやすく、長く働き続けられる産業づくりを進めてまいります。

「道」は人類が最初に作った最も基本的なインフラです。地域の安全と生活を支える社会の血管ともいわれています。その担い手である私たちが誇りを持って次世代に「魅力ある産業だ」と言えるよう、古い慣習から脱却し、未来志向の働き方を築いていきましょう。小さな行動が大きな変革を生み出すことを信じ、道建労協加盟組織の力を結集し、誰もが憧れる行列ができる道路建設産業を目指してまいります。

【議長 加藤 幸宏 (NIPPO労働組合)】



「道路建設産業の未来に
寄せる希望の観測」

厳しい残暑が続きますが、今年も月見ハ
ーガーの季節がやってきました。今年の
十五夜は十月六日だそうです。

月といえば、国土交通省が進める宇宙建
設革新プロジェクトに私は大きな希望を
感じています。月面での無人建設を視野に
入れた技術開発は、地上の施工にも革新
をもたらし、自動化・遠隔化・ロボット化に
よって安全性と効率が飛躍的に高まるこ
とが期待されています。施工管理者もま
た、現場を監督する存在からシステム全
体を統括する司令塔へと進化していくで
しょう。社会に不可欠なインフラを支え
るこの仕事は、技術革新を味方につけるこ
とで、新たな誇りとフロンティアスピリッ
ツを持てる時代を迎えようとしていま
す。

そして、もし人類が月面で生活する未来
が訪れたなら、月面生まれ月面育ちのル
ナリアンが誕生したり、月面都市で人型
機動兵器が開発されたりするのかもしれ
ません。やがて月に独立した自治体がで
きれば、一月の代理人を名乗る美少女戦
士がお仕事を執行する日も来るかも。
技術と想像力が描く未来は、なんともワ
クワクするものです。——いや、月が
綺麗ですね。

東亜舗装工業社員労働組合

般若 真一

フリーウェイ

道建労協 40 周年記念祝賀会

2025 年 7 月 18 日（金）定期大会・単組支援セミナー後に、40 周年記念祝賀会が開催されました。初代議長をはじめ、多くのOB・OGにもお集まりいただき、思い出の花を咲かせたり、道路建設産業の未来について語り合ったりと大盛況でした。諸先輩方の想いを受け継ぎ、次の世代へしっかりとバトンを繋げられるよう、今を生きる我々世代が精進してまいります所存です。

設立40周年記念祝賀会 道路建設産業労働組合協議会



第37回 労使セミナー

2025 年 1 月 16 日（木）に、アートホテル日暮里ラングウッドにおいて第 37 回労使セミナーを開催しました。

今回で 37 回目を迎えたセミナーでは、労使が抱える共通の課題や問題点をテーマに、講師に森島孝氏をお迎えして「職場を元気にする「イクボス」と「部下デカラ」と題し、道建労協加盟単組や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務委員会を中心とした各企業の総務・人事部門の皆様をお迎えし、セミナーを開催いたしました。

講師である森島氏は、大学卒業後、人材派遣会社、出版社、広告代理店を経験したのち、より家族の時間、自分の時間を優先させるために独立され、主にNPOの事業支援に従事する合同会社Life laboを設立。父親の家事育児参画、働き方改革を支援する「NPO 法人ファザリング・ジャパン九州」代表理事、結婚・出産等で職を離れた女性の緩やかな社会復帰を支援する「NPO 法人ママワーク研究所」理事等、様々なNPOプロジェクトに関わっておられる方です。

仕事と子育ての両立、ワークライフバランスの充実、上司と部下の関係など、現代が抱えている課題は山のようにあります。特に印象的だった内容が 2 つあります。1 つは「父親になる」と「父親をする」は別物であること、もう 1 つは、上司は「管理職」から「支援職」になるということです。一昔前と比べると、子育てに関わる制度が格段と整備され、家族と過ごす時間が増えたことと思います。上司と部下の関係においても、上から目線ではもはやだれにも相手にされない時代です。どの立場にあっても、相手の気持ちになり、思いやりのある行動が大切だと再認識させられました。今回のセミナーが、何らかの形で皆様のお役に立つことを切に願っております。

大成ロテック社員組合 谷地 力重



北陸・東北地区 関係団体及び加盟単組企業訪問

2025年5月19日（月）～20日（火）に北陸地区、5月22日（木）～23日（金）に東北地区の加盟単組企業と各地区関係団体の訪問を行いました。

2024年4月から時間外労働の上限規制が適用され、各加盟単組企業並びに関係団体においては、様々な策が講じられているようです。担い手の確保や労働防止の観点からも、それぞれの企業が工夫を凝らしながらも、四苦八苦しているような印象も受けました。近年では、地震や線状降水帯による豪雨など、激甚災害が多発しています。我々が携わる道路建設産業は、それらの復旧をも担っていることを忘れてはなりません。魅力あふれる、人の集う道路建設産業としていくために、私たち現役世代が今、変えていかなければならないのです。まずは、道建労協の加盟単組間において、各単組の取り組みについて情報を共有し、労使が一体となって出来ることから一つずつ改善していきましょう。道路建設産業が将来世代にとって心惹かれるものとなるよう、働きがいのある職場と豊かな生活の実現を目指していきましょう。

大成ロテック社員組合 谷地 力重

【北陸地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問（2025年5月19日～20日）



【東北地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問（2025年5月22日～23日）



2025 年度 道建労協年間スケジュール

第40 回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。活動の経緯、報告については随時ホームページや機関紙などで紹介いたします。

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
各種会議		三役・中執			三役・中執		三役・中執				三役・中執	
大会	単組大会	単組大会		単組大会								定期大会
企業訪問			企業訪問							企業訪問		単組大会
研修会 セミナー				意見交換会		労使セミナー						単組支援 セミナー
地協活動	幹事会		地区交流会	幹事会			幹事会			幹事会 地区交流会		地協代表者
春闘への取組				調査時報		年齢構成調査	基本方針	情報交換	情報交換	情報交換	情報交換	
産 労 懇			運営委員会 土開共同グループ		総会 セミナー		運営委員会			運営委員会 土開共同グループ	運営委員会	
機 関 紙		110号			番外編	111号						番外編
ポ ス タ ー				土曜閉所							土曜閉所	
アンケート					土曜閉所							土曜閉所
関連団体訪問 その他			厚労省・国交省 道建協・日合協 加盟単組	レクリエーション						厚労省・国交省 道建協・日合協 非加盟単組	休日フォト コンテスト	

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。

本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！皆さん、奮ってアクセスして下さい！

<http://www.doukenroukyou.com>

検 索



地協のない地域の交流会（北陸・東北）

【北陸地区交流会】

2025 年 5 月 19 日（月）ホテルグロリアレビュー新潟において、「道建労協 北陸地区交流会」が開催されました。冒頭に本部役員より、道建労協の活動である 6 月の完全週休 2 日実現統一運動について説明があり、各単組出席者の土曜閉所や時短活動の具体的な取り組みを発表し、情報共有及び意見交換を行いました。

各社において、さまざまな取り組みを行っており、土曜日の休日管理だけではなく、時間外労働の管理を厳しく行う会社が増えてきています。働き方改革が施行されてから、着実に、時間外労働、休日出勤日数が減少している声が多く聞かれ、なかには、若手の趣味を把握し、趣味の時間をとれるように計画的に休めるように配慮しているという意見もありました。ただ休ませるだけではなく、組合員の休日の質を高めていく動きが出てきています。

休日日数が増えていくなか、今まで以上に、有意義な休日の過ごし方を個々人が考えていかなければならない時代なのだと思います。

前田道路労働組合 尾崎 浩司



【東北地区交流会】

2025年5月22日（木）、仙台国際ホテルにおいて東北地区交流会が開催され、各単組と本部合わせて総勢28名の方にご参加いただきました。初めに加藤議長より挨拶、次に尾崎事務局長より土曜閉所推進運動の展開について説明、続いて各単組の土曜閉所及び時短への取り組みを発表していただきました。

「時間外労働に関する上限規制」が建設業においても適用開始となつてから1年が経過しましたが、各単組における現状や取り組みについて情報共有を図ることができました。効果が出ている施策もある一方、民間工事への対応や管理職への業務しわ寄せ等、まだまだ課題が多いという印象を受けました。

よりよい職場環境・働き方をすすめていく上で、各々の事例や意見を共有するこの場が皆様のお力になれば幸いです。最後に、会議終了後の合同懇親会開催にて活発な意見交換ができましたこと、ご多忙にもかかわらずご出席くださいました皆様のおかげと心よりお礼申し上げます。

大林道路職員組合 森 周平



単組支援セミナー



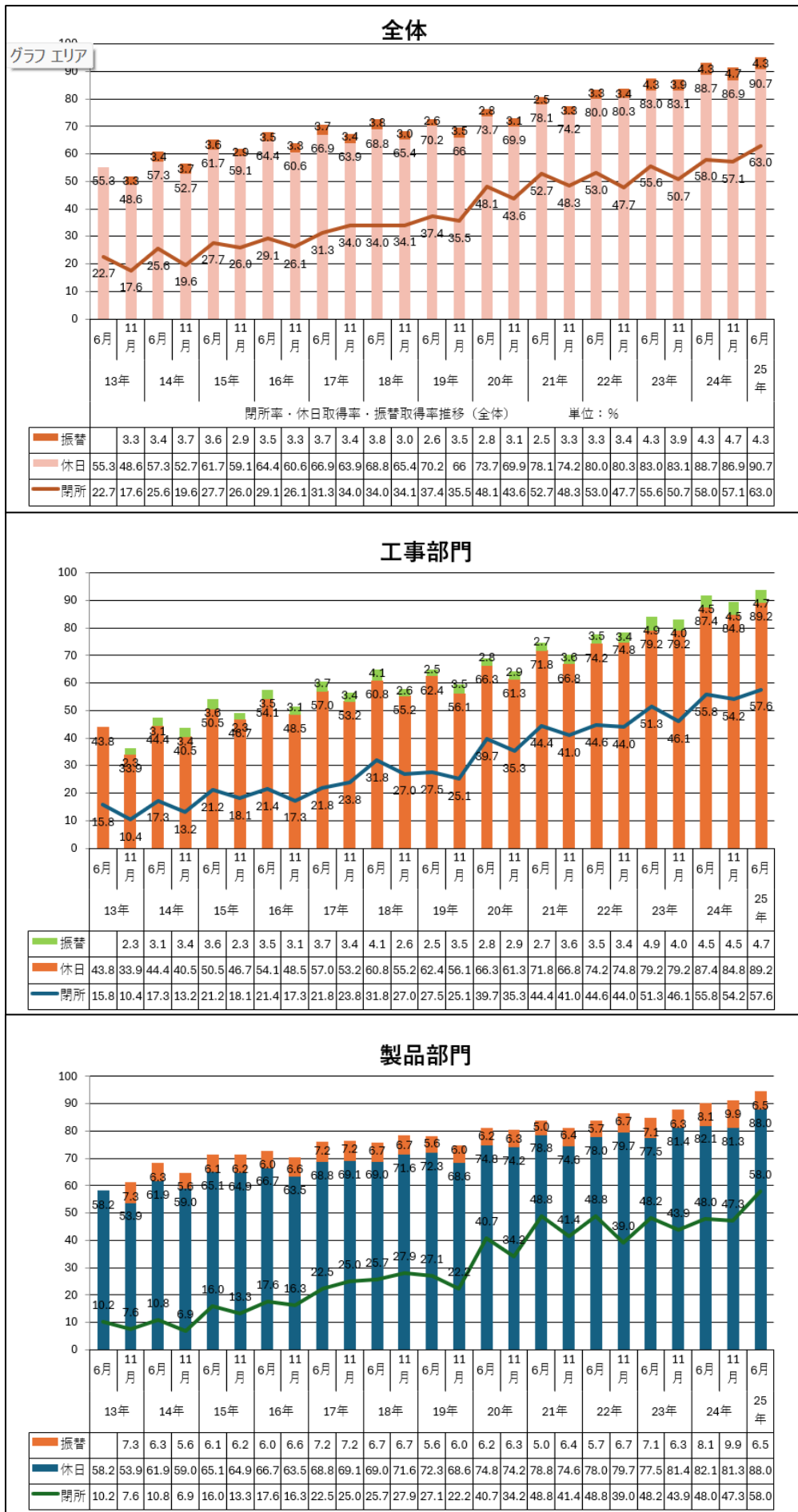
2025年7月18日（金）に、定期大会に引き続きアートホテル日暮里ラングウッドにおいて単組支援セミナーを開催いたしました。講師には一般社団法人 日本刑事技術協会代表理事の森透氏をお迎えして「元刑事が教える強いメンタルの作り方」と題しまして、刑事時代のエピソードを交えながら講演していただきました。

メンタルとは心に関するさま、精神的、心理的のことをいいます。最初からメンタルが強い人はおらず、様々な体験からの自身の思考が大きく影響するようです。ネガティブな思考よりもポジティブな思考の方が、自身により良い影響をもたらすのは言うまでもありません。また、笑顔が私たちに与える影響が大きいということも再認識しました。メンタルが強い人、弱い人と表現されたりもしますが、私たちの考え方ひとつでいかようにもなることを学ばせていただきました。せっかくでしたらメンタルの強い人になれるよう、そして、心身ともに健康でいられるよう、普段の行動、言葉、思考、習慣を見直していきたいと思います。

大成ロテック社員組合 谷地 力重

土曜閉所率・休日取得率の推移

※2025年6月の土曜閉所率・休日取得率アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



新年度 役員紹介



**2025年7月開催の
第40回定期大会で
以下の方々が新役員となりました。**



加藤 幸宏
議長
(NIPPO 労働組合)



森 周平
副議長
(大林道路職員組合)



初野 浩子
副議長
(東亜道路労働組合)



谷地 力重
副議長
(大成ロテック社員組合)



尾崎 浩司
事務局長
(前田道路労働組合)



久田 陽平
中央執行委員
(NIPPO 労働組合)



安西 崇裕
中央執行委員
(三井住建道路労働組合)



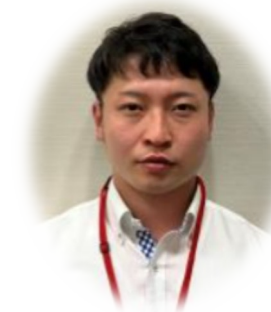
黛 雅弘
中央執行委員
(フジタ道路職員組合)



般若 一真
中央執行委員
(東京舗装工業社員労働組合)



岩瀬 洋平
中央執行委員
(全大有労働組合)



繁田 晃太郎
会計監事
(大林道路職員組合)



川又 宏樹
会計監事
(大成ロテック社員組合)

退任

役員紹介



第40回定期大会をもちまして、以下の方々が退任されました。

今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における
重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。



松本 崇
副議長
任期：2024 年度
(東亜道路労働組合)



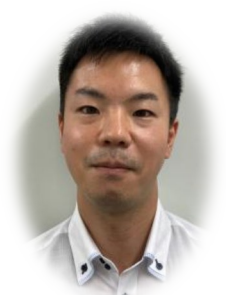
米盛 健二
中央執行委員
任期：2024 年度
(NIPPO 労働組合)



世古 隆史
中央執行委員
任期：2024 年度
(全大有労働組合)



白崎 謙二
会計幹事
任期：2023 年度～2024 年度
(大成ロテック社員組合)



佐々木 憲大
会計幹事
任期：2022 年度～2024 年度
(大林道路職員組合)

**長・間
お疲れさま**

物知りクイズ

正解者の中から抽選でクオカードをお送りします！

最近は大い暑さが和らぎ、過ごしやすい日々が続いています。残暑再来との一部障壁道はありますが、今年の夏は、日本の観測史上、最も暑い夏となりました。老若男女、お体に負担がかかったことと思いますので、無理はせず、十分にご自愛ください。

さて、9月には世界陸上が東京・国立競技場で開催され、こちらも暑さに負けず劣らずの熱戦が繰り広げられたのは、記憶に新しいことと思います。世界の高い壁を感じつつ、必死で食らいつく日本選手の健闘には心打たれるものがありました。

今回の「物知りクイズ」は、世界陸上にまつわるクイズを出題したいと思います。皆様いくつ答えられるでしょうか？

Q1. 東京で世界陸上が開催されるのは1991年以来2度目ですが、これまで世界陸上を2度開催している唯一の都市はどこ？
①ローマ ②ロンドン ③ヘルシンキ ④ニューヨーク

Q2. 東京で前回開催された1991年大会で樹立された世界記録で、現在も破られていない種目は何？
①男子走幅跳 ②男子走高跳 ③女子走幅跳 ④女子走高跳

Q3. 2023年まで19回開催された世界陸上での国別の金メダルで、1位はアメリカですが、2位はどこ？
①ジャマイカ ②ケニア ③ロシア ④イギリス

Q4. 世界陸上において、日本人で唯一、2大会連続金メダルを獲得している選手はだれ？
①浅利 純子 ②山西 和利 ③有森 裕子 ④高橋 尚子

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。

たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所(会社宛の場合は会社名もご記入ください)

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2025年12月26日(金)

●宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1 前田道路労働組合内

道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

FAX 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE109号物知りクイズ当選者

該当なし

編集後記

PAVE110号をお読みいただきましてありがとうございます。時間が経つのは早いもので、働き方改革関連法が2019年4月から施行されて6年が経過しました。働き方改革が始まる当時のことを皆さん覚えておられますでしょうか。時間外労働を月45時間、年間720時間に収めなければならないという大きな課題に対して、私は当時本当にそんなことが出来るのだろうかと思っていたことを今でも覚えています。

しかし、建設業界では、時間外労働と休日取得の管理を徹底した結果、現在、現実的に、法律の範囲内で勤怠管理が行われています。大手ゼネコンにおいては、人手不足等を背景に選別受注の動きもあり、お客様は神様と呼ばれていた時代から、働いてくれる人が神様と呼ばれる時代になろうとしているように感じます。

これからも社会や業界の環境は大きく変わっていきますが、その変化を前向きにとらえ、共により良い働き方を築いていければと思います。

前田道路労働組合 尾崎 浩司